

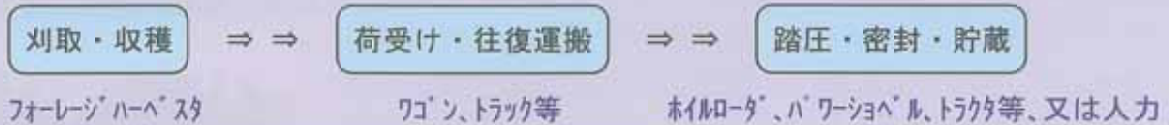
細断型ロールベアラのすすめ

ラクしてトウモロコシのサイレージ調製を！



成型されたロール

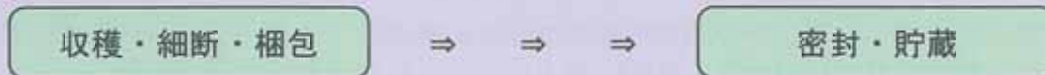
◎現行の作業体系



問題点・5. 6人以上の組作業が必要なため、**人手不足**が深刻な都府県では作業が成立しにくい
 ・大規模圃場では、効率的な作業が可能だが、小区画・分散圃場では作業能率が低下
 ・踏圧作業など人力が必要な場合もあり、**炎天下**での作業は**重労働**、など



◎細断型ロールベアラによる作業体系



ハーベスタ+細断型ロールベアラ



対応ベールラッパ



従来のロールにも使えます！

特徴、メリット

- ・飼料用トウモロコシの収穫調制作業が**2名**で可能。サイロ詰め**の重労働作業からも解放**
- ・細断したトウモロコシを高密度（約200kg・DM/m³）なロールベールに成形（直径85cm）
- ・調製ロスがほとんどない**高品質サイレージ**、1年経ってもV-scoreは90以上を確保*
*独立行政法人 畜産草地研究所の調査による
- ・急な雨に遭っても**迅速に密封**できるので、サイレージ品質は落としません

◎細断型ロールベアラと対応ベールラッパは、21世紀型農業機械等緊急開発事業により生物系特定産業技術研究支援センター（略称：生研センター、旧生研機構）と（株）タカキタ及びびスター農機（株）の共同で開発されたものです。

◎細断型ロールベアラ作業体系のバリエーション

1. ワンマン収穫作業体系

1台のトラクタにフォレージハーベスタを装着、細断型ロールベアラをけん引して作業します。対応ラッパと組み合わせてたった2名で収穫・調製作業が可能となります。2条刈ハーベスタ使用の場合、59kW(80PS)以上のトラクタで作業可能です。ペールの結束・放出時もノンストップで作業できます。(2条ハーベスタと99PSトラクタ使用時の作業能率30a/h)



収穫・成形



密封

2. 定置作業

ボンネットワゴンやローダーバケットに溜めた細断材料を圃場の隅に止めた細断型ロールベアラのホッパに空けます。枕地処理や圃場が狭く、リバース作業だけで行う場合などに対応できます。細断型ロールベアラには30PS以上のトラクタがあれば作業が可能となります。



収穫



荷受・成形



密封

3. 伴走作業

トラクタ馬力が小さく、ワンマン収穫作業ができない場合にフォレージハーベスタに伴走して作業を行います。細断型ロールベアラには30PS以上のトラクタがあれば作業が可能。



収穫・成形



密封

◎細断型ロールベアラ導入に対する補助事業

事業名：強い農業づくり交付金のうち、「飼料増産の取組」、「耕種作物活用型飼料増産の取組」、「多角的農作業コントラクター育成の取組」

事業主体：農協、営農集団等

補助率：1/2以内(新規性、モデル性が高いことから牧草用ロールベアラの補助率1/3より優遇されています)

九州地域飼料増産行動会議

事務局：九州農政局生産経営流通部畜産課

〒860-8527 熊本市二の丸1-2 TEL: 096-353-3561 (代)